

みまもりあいプロジェクトの導入について (令和6年度 民間提案制度採用事業)

令和6年度民間提案制度において採用となった「互助×ICTを活用した地域が主体となって取り組むことができる見守りの仕組みの導入」について、本市の新たな認知症施策の一環として令和8年度から事業化しますので、事業の概要について報告します。

1 事業の目的

認知症高齢者等が行方不明となったときに、保健・医療・福祉・介護等の事業者や地域の住民の支援を得て、行方不明者の早期の発見につなげ、もって認知症高齢者等の安全及びその家族等への支援を図ることを目的とします。

2 事業の概要

(1) 事業対象者は、認知症の疑いがある人、または、ひとり歩きの恐れがある65歳以上の在宅生活者です。認知症の診断は不要とし、緊急連絡先となるご家族等の電話番号2つを登録する必要があります。

(2) ひとり歩き高齢者等の早期発見、早期保護、家族の負担軽減のため、高齢者等の衣服や持ち物に貼り付ける「みまもりあいステッカー」48枚を配付します。



(3) 高齢者等が行方不明になった場合、発見者がステッカーに表示するフリーダイヤルに電話し、同ステッカーに表示するIDを入力すると、電話転送システムにより、発見者の電話番号を秘匿した状態で、緊急連絡先(家族等)に直接電話がつながります。

(4) 行方不明高齢者等の情報を配信できる「みまもりあいアプリ」も同時に運用開始します。当該アプリはステッカーのIDとも連動しており、家族等はアプリをダウンロードしている一般協力者に対し、任意のタイミングで検索依頼を配信できます。(発見者による通報連絡の流れは上記(3)と同様)

3 事業実施にあたっての配慮事項

(1) 「対象者の自尊心への配慮」

- ・申請時に認知症の診断書提出を不要とし、「認知症の人」との特定を防ぎます。
- ・ステッカーを「落とし物対策」としても活用できる旨説明し、対象者の理解を得ます。

(2) 「防犯対策」

- ・対象者の衣類や持ち物の目立たない所にステッカーを貼るよう周知します。

- ・当該システムは、通話内容を録音する機能が付随しており、発見者による架電時に警告音声も流れるため、犯罪行為の抑止効果が期待できます。

4 事業の周知

- (1) 導入初年度は利用者の自己負担を無しとし、民間提案制度により採択された新規事業として広く周知啓発を行い、多くの市民に利用していただきます。
- (2) 市主催のイベントや「SOSネットワーク事業」(市社協の自主事業)のひとり歩き高齢者声掛け訓練に併せ、みまもりあいステッカー・アプリを活用することで、市民への普及啓発を行うとともに、新たな協力者の掘り起こしにつなげます。

5 導入に要する費用

内 容	(千円)	内 訳
① 初期手続き費用	110	初年度のみ
② ステッカー購入費用	1,232	@6,160円×200部(1部48枚入)
③ ログ解析設置手続き費用	110	初年度のみ
④ ログ解析費用(年1回)	132	ステッカー電話回数、77°リDL数、77°リ搜索配信数 年1報告
初年度にかかる費用 計	1,584	
2年目以降		
① ログ解析費用	132	支払いなしの場合は77°リDL数のみ報告
(② ステッカー購入費用	308	@3,080円※×100部(最小ロット)

※導入2年目以降は、一定の自己負担額を利用申請者へ求めていく予定です。

費用試算は、ステッカー購入費用単価の1/2額を自己負担していただく想定です。

6 今後の予定

2026年4月以降、広報あかしや関係機関、関係団体等への周知期間を経て、年度途中(7月頃)から利用希望申請の受付を開始します。

導入初年度の申請状況により、2年目以降の当該事業の運営方法(自己負担額の設定等)を検討します。(導入初年度は200件の申し込みを想定)